

広報

# ただみ

8  
2023 月号  
No. 639  
令和5年8月10日

## たなばたかい



### 今月の表紙

#### 【短冊に願いを込めました】

町内保育所や小学校では、7月7日の七夕に合わせて、笹に飾り付けを行いました。

短冊には「みんなですっとなかよくできますように」、「ブルドーザーのうんてんしゅになれますように」といった将来の夢やお願いごとを書き、七夕飾りと一緒に笹に飾りました。

#### 《特集》

#### 第34回ブナと狩人の会

マタギサミット in ただみ開催 …… 2～3

《News&flash》 …… 4

《町の話題》 …… 5～9

#### 《別冊》

「空き家管理」

「ふるさと納税」

「U・Iターン情報」

「成年後見制度」





## 第34回 ブナと狩人の会

# マタギサミットinただみ開催

第34回「ブナ林と狩人の会 マタギサミットinただみ」が6月24日から25日にわたり、開催されました。本サミットは同実行委員会と只見町の共催で開催されました。北海道、秋田県北秋田市阿仁、山形県小国、長野県栄村秋山郷など日本を代表する雪深い山々の猟師を中心に、研究者、学生、行政担当者など全国から200人を超える参加者がユネスコエコパークに登録された只見町に集合し、狩猟、採集など、中山間地域の生活や文化継承について語り合い、情報交換を行いました。

24日は季の郷湯ら里を会場に講演等が行われ、冒頭の挨拶で渡部勇夫町長は、豊かな山との暮らしをゼンマイ折りの思い出と共に語った他、原発事故以降続く一部山菜の出荷制限などについても触れました。また野生鳥獣肉については「只見ふるさとの雪まつり」の定番だった熊汁が提供できなくなっている。制限が続くことにより伝統的な文化の継承や発展の危機を招くことのないよう、町としても対応を考えるのに貴重な機会を

### 講演

#### 「旅マタギと只見町、近世中山間地域のイノベーシオン」

主宰の田口洋美氏（狩猟文化研究所所長）の講演では、秀でた猟技術を持ち、各地で出稼ぎ狩猟をしていた秋田県阿仁の旅マタギと只見町について解説しました。阿仁マタギの家には、只見町黒谷川流域の狩場を描いた絵図が残っていることや、阿仁マタギが遠く越境して只見町を訪れていること、その記録が叶津番所の当主、長谷部家の古文書に残っていることなどが紹介されました。

田口氏は「山と生きるマタギも農村社会の一員であり、江戸後期から明治、大正、昭和という時代の変化に伴って、税制改革や毛皮の需要増などの影響を受ける中、クマやカモシカなどの資源を換金する仕組みを工夫し、狩猟を市場経済に結びました。マタギ達の歴史は、現在の中山間地の

いただいた」と話しました。

経済を考える上でも、学ぶところがあるのではないかと話しました。



▲阿仁マタギの家に残る黒谷山絵図 マタギ資料館所蔵



▲講演をする田口洋美氏

「ジビエをめぐる

現状と未来を語る」

出荷制限の続く野生鳥獣肉について、「南会津管内ではクマやシカについては基準値を超える個体は出ていないことから、出荷制限の部分解除を検討できるのではないかと」との議題でデイスカッションが始まり、山形県小国町と長野県の事例が紹介されました。小国町では伝統的な熊まつりを再開するために署名運動や全頭検査を経て一部解除となったことが挙げられました。長野県ではシカ肉をジビエとして活用するために、狩猟現場での解体を禁止、衛生管理マニュアルを導入し、全頭検査を条件に一部解除となったことが挙げられた他、ジビエ自体にかかるコストや安定供給については課題があること等が報告されました。南会津町からは、出荷制限という現状のもとで、「駆除されるシカを少しでも活用したい」と、シカ革細工に取り組む活動が紹介されました。



▲パネルディスカッションの様子

また近年市街地への出没が懸念されているツキノワグマについてもデイスカッションが行われました。人間を恐れないクマが多くなっていることから、長野県ではツキノワグマ保護管理計画で積極的に春クマ猟を行う方針を打ち出された事例が紹介されました。また山形県で40年以上続けられている春クマ猟では、子持ちクマは捕獲しないなどの決まりを守りながら、猟師達自らがクマの生息頭数を調査しており、大量出没の年については捕獲頭数が多いにも関わらず、山中のクマの目撃数は変わらなかつたことなど貴重なデータが得られている事例も紹介されました。田口氏からは「福島県は原発事故による出荷制限が続いている。放射線量の検査体制についても課題はあるが、全

頭検査や処理施設の検討など解決できないわけではない。制限解除のための署名でも情報共有でも、我々東北の猟師達が連携して協力できる。福島県の皆さんは決して孤独ではない。諦めずに頑張りましょう」と力強くまとめ、参加者からは拍手が沸き起こりました。

翌25日は大型バス3台に乘り、ダムに沈んだ田子倉集落の狩場を見渡す展望ポイントで雪食地形による急峻な山々を観察し、対岸の雪溪にクマが現れるなど盛り上がりを見せました。

その後、阿仁の旅マタギが江戸後期に訪れた記録が残る叶津番所を視察しました。また、阿仁マタギと叶津番所それぞれの子孫が懇談し、遠い歴史に思いを馳せました。他にも、只見町朝日地区で春クマ猟をしていた渡部民夫氏から、かつて黒谷川上流で狩猟していた阿仁マタギの歴史が紹介され、参加者は興味深く聞き入っていました。

現地視察



阿仁マタギが訪れた記録が残る叶津番所



田子倉湖を見渡す展望ポイント

人権について学ぶ  
「人権教室」開催



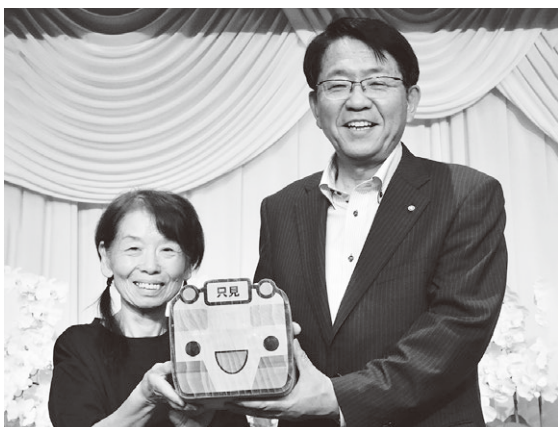
▲人権擁護委員の皆さんから。人権の大切さを学びました

只見中学校生徒を対象に「人権教室」が6月27日に只見中学校で開催され、只見町人権擁護委員の角田行雄さん、鈴木美穂さん、渡部早苗さんが講師を務めました。

生徒たちは、SNSに写真を掲載する際に人権保護のために考えなければならぬことなど人権保護等について学びました。

角田氏は「生活の中で人権の重みを感じてほしい」と伝え、生徒は「インターネットの危険性を知ることができました。気をつけるようにしたいです」と話しました。

JR只見線応援のために  
夢広場から  
寄附をいただきました



▲募金箱を手渡す菅さん

夢広場主催の『JR只見線応援「歌と踊りのチャリティーショー」』が7月2日に季の郷湯ら里で開催されました。

昨年10月に全線運転再開した只見線を運転再開後も応援して欲しいと、多くの方が集まりました。

第1部では支援者が友情出演し、歌や踊りで会場を盛り上げました。第2部冒頭では、当日の来場者などから集まった寄付金などの寄贈が行われ、夢広場代表の菅初美さんが、渡部町長に手渡しました。

日本ユネスコエコパークネットワーク  
横浜国立大学と連携協定



▲大会には全国のJBRN関係者が集まりました

国内10地域のユネスコエコパーク登録地域で構成される「日本ユネスコエコパークネットワーク（JBRN）」の年次大会が、7月24日に神奈川県横浜市で開催されました。

今回の大会は、総会、情報交換会、横浜国立大学との連携協定締結式の3部制で行われました。

総会では新たに横浜国立大学と公益財団法人日本自然保護協会と連携協定を締結することが全会一致で承認されました。



▲協定書を掲げる梅原学長と渡部会長

総会での承認後、横浜国立大学の梅原学長とJBRN会長を務める渡部只見町長が協定書に調印を行いました。両者は、同大学付属小中学校のユネスコスクール活動や、各ユネスコエコパークでの学生・教員の研究活動のさらなる推進によって、持続可能な社会の実現に向け連携し取り組んでいくことを確認しました。

日本自然保護協会とJBRNの連携協定締結は年内に行われる予定で、各ユネスコエコパークと民間企業や専門家との資源調達を含めたパートナーシップの構築により、生物多様性の損失を止め、回復させる。目標の実現に向けた取り組みを推進するため連携を図っていくこととなります。

## 水の流れを学ぶ 町内小学校「上下水道施設見学」

町内3小学校4年生の社会科授業で、各地区の浄水場や浄化センターの見学学習が行われました。(朝日小6月22日、明和小6月27日、只見小6月30日)

見学学習では、株式会社トーカンの皆さんや町の職員の解説で生活の中で使用されている水が「どこから、どのように来ているのか」や「使用した水がどのように処理されているのか」などを学びました。児童は、普段見ることができない施設の内部構造や設備に興味深々で見学して回りました。



▲水の流れについて学ぶ朝日小児童



▲水が浄化される仕組みを学ぶ明和小児童



▲施設を真剣に見学する只見小児童

## 只見線全線運転再開し、新潟県魚沼市(旧小出町)と只見町の更なる交流を深める

### 商工会青年部「しねり弁天たたき地蔵祭り」参加

新潟県魚沼市で「しねり弁天たたき地蔵祭り」が開催され、只見町商工会青年部を中心に只見町民15人が参加しました。

開会式では、内田魚沼市長など関係者らと只見町商工会青年部の渡部公栄部長が鏡開きを行いました。

渡部部長は「只見線が全線繋がり、これからは小出と只見町の人繋がる時だと思います。両市町でお互いに手を取り合い、それぞれを盛り上げていきたいです」と話しました。

只見町商工会青年部は約40年以上にわたり、この祭りを通じた交流を続けており、両市町の友好関係の一端となっています。



▲内田市長や実行委員会メンバーらと一緒に鏡開きを行う渡部部長

## 町内の海外研修生と地域住民が交流を深める

### 「国際文化交流会 ミニ運動会」開催



▲子どもたちも参加し、大変賑わいました

明和自治振興会の主催で「第5回国際文化交流会 ミニ運動会」が7月1日に明和小学校体育館で開催されました。交流会は明和地区住民と海外研修生が相互に親睦を深めることを目的に行われました。

運動会には、町内企業の社員やその企業に就業している海外研修生など約70人が参加しました。全7種目の競技が行われ、最後には参加者全員で会津磐梯山を踊り交流を深めました。

## ～ユッコギを普段着に～

# 「只見の仕事着を縫ってみよう」実施

合同会社メーデルリーフの主催で「～ユッコギを普段着に～只見の仕事着を縫ってみよう」が7月8日から9日まで叶津番所で行われました。

『「自然首都・只見」伝承産品』に登録されたダフユッコギとホソユッコギのどちらか1つの型紙を使用し、参加者が用意した布で2日間かけてユッコギを縫い上げました。このワークショップには、町内外から10名が参加し、参加者からは、「只見の仕事着に興味を持ち参加した」「家に帰ってからも作ってみたい」などの声があがりました。



▲三瓶こずえさんからユッコギの説明を受ける参加者

## 川遊びを楽しみました

# 朝日小学校「川遊び・イワナつかみ体験」実施

朝日小学校の全校児童が、7月12日に黒谷川で「川遊び・イワナつかみ体験」をしました。

川遊びでは、川の流れに身を任せて泳いだり、水切りをして遊んだりした他、カエルなどの水生生物を発見するなど、川遊びを満喫しました。川遊び時には、流れが急な所や底が深い所で溺れないように、朝日地区地域づくり委員会の皆さんが見守りを行いました。

イワナつかみ体験では、浅瀬に作られた生け簀で、泳ぎ回るイワナを追いかけ、手づかみに挑戦しました。

児童は「水が冷たくて気持ちよかった」、「イワナがヌルヌルしていて、なかなか捕まえられなかった」と感想を話しました。



▲イワナつかみをする児童たち

## 奥会津地域全体を博物館に 「奥会津の縄文」開催

只見川電源流域振興協議会の主催で、奥会津7町村の文化施設が連携した企画展「奥会津の縄文」が7月22日から開催されました。

当企画は、奥会津地域全体を博物館に見立てる「奥会津ミュージアム事業」の一環で行われています。施設ごとに各地域の特色がある展示品が並べられ、只見町では、窪田遺跡から出土した土器などが、「ただみ・モノとくらしのミュージアム」に展示されています。

なお、只見町での当企画展は11月12日まで開催されます。ぜひ、足をお運びください。



▲縄文時代から続く奥会津の文化を感じてみてください

## 手作り雑貨や野菜などが並びました「明和マルシェ」開催

明和自治振興会の主催で「明和マルシェ」が7月22日にモノとくらしのミュージアムピロティで開かれ、手工芸品や野菜、アヒル掬いくじ（くじになっているアヒルを掬う）などが並びました。

明和マルシェには、おしらせばんなどを見た町民の方の他、ツーリング中に立ち寄られた方など町外からのお客さんも見えました。

明和マルシェは、10月まで毎月第4土曜日に開催を予定しています。今後の開催日や出店等につきましては、明和公民館（TEL 0241-86-2111）にお問い合わせください。



▲ツーリング中にマルシェに立ち寄られたお客さん

## ご寄附ありがとうございました 南会津運輸親交会から寄附



▲ご寄附ありがとうございました。いただいたご寄附は有効に活用いたします

南会津運輸親交会は、7月26日に只見町役場を訪れ、金50,000円を町に寄附しました。

当親交会は、「輸送秩序の確立及び事故防止の運動の推進」等を行っており、今回の寄附については「交通事故防止等の活動に活用していただきたい」と話されました。

南会津運輸親交会…下郷町、南会津町、金山町、只見町内に事業所がある事業者等が参画しており、貨物自動車運送事業の輸送秩序の確立や各事業所間の友好・親睦を図ること等を目的としています。

## スマホを使いたい人を応援 「みんなのためのやさしいスマホ教室」開催

スマートフォン（スマホ）の基本的な使い方やLINE（ライン）などの使い方を学ぶ「みんなのためのやさしいスマホ教室」の第1回目が7月24日、25日に開催されました。

講師は鈴木久美さん（布沢）が務め、参加者に対し、「間違いは最高の学びです。覚えて忘れてを繰り返しながら学びましょう」と伝えたくうえで、スマホに表示されているマークやアプリについて説明しました。



▲鈴木さんの説明を聞く参加者

## 只見町昔ばなしの会の地域貢献活動が認められました

# 「ニッセイ財団・地域生き生きシニア活動顕彰」受賞 受賞記念講演会「昔ばなしの伝承 表現とところ」開催

町に残る昔ばなしの伝承と普及に努めている只見町昔ばなしの会が、ニッセイ財団の「地域生き生きシニア活動顕彰」を受賞し、7月19日に福島県庁で行われた授賞式に渡部悦子代表が出席しました。

これは、すぐれた地域貢献活動をしている団体に対して顕彰されるもので、県内では本会を含めて4団体が表彰されました。

また、只見町昔ばなしの会のニッセイ財団顕彰の受賞を記念した講演会が、7月27日に季の郷湯ら里で開かれました。



▲表彰状を受取る渡部代表



▲講演会冒頭では、渡部代表が挨拶し、昔ばなしを披露しました

講演会は、ただみ・モノとくらしのミュージアムの久野俊彦館長が講師を務め、「昔ばなしの伝承 表現とところ」を演題に講演しました。時代とともに変化していく語り方について、実際に採話した昔ばなしを聞きながら違いを確認するなどし、参加者は興味深く聞き入っていました。

渡部代表は、「結成されて27年になりますが、これまでの活動が評価されて本当にうれしいです。先輩の方々の努力の賜物です。これからも一層昔ばなしを語ることに励んでいきたいです」と話しました。



## 虫歯のない子

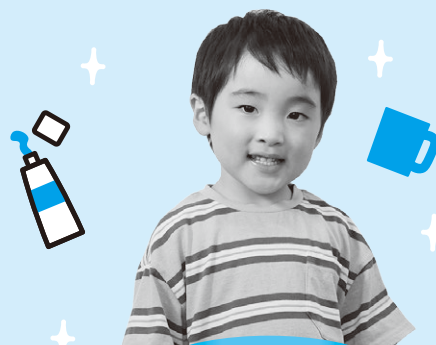
(7月25日 3歳児検診)



こばやし なる  
小林 成くん  
(三軒在家)



まし せいと  
星 瑛翔くん  
(小林)



すすき さくら  
鈴木 咲良くん  
(黒谷)



## 只見町名誉町民 渾朴の書人 生誕百年 「皆川雅舟展」 開催

企画展「生誕百年 皆川雅舟展 只見が生んだ渾朴こんぼくの書人」が、ただみ・モノとくらしのミュージアムで7月11日から10月9日まで開催されています。

本企画展は、皆川雅舟(政一郎)氏の屏風やパネルを中心とした大作の書作品を多数展示しています。故郷田子倉に関する資料や、皆川雅舟氏がどのようにして書人になり、どんな活動をしたのかについても展示し解説されています。

入場、観覧は無料となっておりますので、ぜひ皆さんご来場いただき、町の文化や歴史等に改めて触れるキッカケにしてみてください。



▲多くの書に触れて、只見町が生んだ書人を身近に感じてください

## 奥会津振興センターの事業等を紹介します

### 奥会津振興センターとは

奥会津7町村が共通して抱える課題に広域的に連携し取り組み、地域の活性化を図るため、各種事業を行っています。

#### 「奥会津ミュージアムWeb」を公開しています

奥会津地域7町村在住または奥会津にゆかりのあるライターたちが、地域の生きた生活文化や人などへの取材を通じて、各々の感性で執筆されるコラムやその他ゲスト執筆者による記事なども随時更新する予定です。

#### 新会長就任について

6月28日(水)、只見川電源流域振興協議会及び奥会津五町村活性化協議会の定例総会で役員改選が行われ、押部源二郎氏(金山町長)が会長に選任されました。押部会長は「皆さま方からの助言を頂戴しながら、奥会津の地域活性のために尽力していきたい」と抱負を述べました。任期は令和5年6月から令和7年6月までの2年です。

#### 奥会津文化施設間連携企画展「奥会津の縄文」開催について

令和5年7月22日(土)より、奥会津7町村の文化施設において連携企画展「奥会津の縄文」を開催しております。本展開催に合わせ、講演会やバックヤードツアーなど関連イベントを実施しますので、併せてご参加ください。

#### 奥会津カーシェアリング導入 実証事業の実施について

只見川電源流域振興協議会は、只見線の運転再開により増加した観光客の移動手段の確保と奥会津地域の観光周遊性の向上を目的に、奥会津カーシェアリング導入実証事業を実施しております。奥会津での観光や帰省などで、駅からの移動にぜひご利用ください。

##### 実証期間

令和5年7月1日(土)～12月31日(日)  
※降雪状況により変更有り

##### 実施場所

会津柳津駅(駅前駐車場)  
会津宮下駅(三島町観光交流館からんころん隣)  
会津川口駅(金山町役場駐車場)  
只見駅(只見線広場)

##### 利用方法

ノッテッテDXアプリにて車両の予約ができます。詳しくはノッテッテHPをご覧ください。  
(<https://www.le-perc.co.jp/carshare/>)

※各記事の詳細は当協議会ホームページをご覧ください。



歳時記の郷HP



奥会津ミュージアムHP



ノッテッテHP

問合せ先

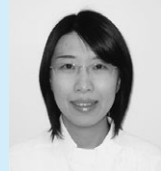
奥会津振興センター(只見川電源流域振興協議会・奥会津五町村活性化協議会)

住所: 福島県大沼郡金山町大字中川字上居平933 メール: tdrsk@okuaizu.net 電話: 0241-42-7125

## 広報ただみ診療所

「歯にまつわるおまじない」

歯科医師 齋藤 さゆり



「健やかな身体に育つように」という願いを込めた言い伝えやおまじないは、古くから多く伝えられています。

“乳歯が抜けたとき、下の歯は屋根の上に投げ、上の歯は縁の下に投げ入れる”、私も幼いころ祖母と一緒に歯を投げた記憶があります。これは続いて生えてくる永久歯が上の歯は下に向かって、下の歯は上に向かって丈夫に伸びますようにというおまじないです。

またその際、「ネズミの歯のように強くなあれ！」などというような願いを掛けることが多いようです。ネズミの歯が後から後から伸び続けることにあやかっただけでしょう。同じようなおまじないは世界各地にあり、お願いする相手も、ネズミはもちろん、小鳥、カラス、すずめ、お月様など多種多様です。また、お日様に向かって投げたり、畑に埋めたり、ネズミの巣穴に入れたり、パンに埋め込み動物に食べさせたり、と方法も様々です。

アメリカでは乳歯が抜けた時その歯を枕の下に置いて眠ると、夜中に「TOOTH FAIRY(歯の妖精)」がこっそりその歯をもらいに来て、お礼にコインやプレゼントを置いていくという言い伝えがあります。子どもたちは妖精が来てコインを置いてくれることを、サンタクロースと同じように楽しみにしています。でも抜けた歯が虫歯だと妖精は現れないので、「ちゃんと歯を磨かないと妖精が来てくれないよ」と言って、親は子に歯磨きを教えるのだそうです。親が子どもの成長を願い、歯を大切にすることを習慣づけるための、ほほえましいお話です。

歯は「食べる」「話す」「笑う」など、幸せな生活を送るための大切な役割を持っています。ですが「乳歯は生え変わるから」と手入れも治療もおろそかになりがちです。健やかな成長のために小さな虫歯もちゃんと治療し、正しい磨き方を教え、仕上げ磨きをしてあげてください。そうすればきっと、歯の妖精が生涯にわたって幸せを運んでくれることでしょう。

## 地域おこし協力隊として Vol.104

只見町教育振興協力隊 そうくら しおり  
宗倉 汐理



只見に来て2回目の夏が来ました。

去年の夏よりも楽しいことが3つ増えました。

一つ目はドライブです。もともと神奈川にいたので運転することはほとんどありませんでしたが、只見に来て頻繁に車を運転するようになりました。四季の移り変わりを感じながらのドライブ。県を跨いだり、福島を巡ったり、只見の通ったことのない道を通ったり。いろいろなところへ行くのも楽しみの一つです。

二つ目はSnowMan。ジャニーズのグループです。この歳になり初めてジャニーズにハマりました。世間では推し活なるものがブームですが、たしかに推しがいると毎日の楽しみが少し増えます。少し前までドライブ中のお供は平成J-POPまたはディズニーの音楽でしたが、最近はもっぱらジャニーズの音楽ばかりです。今度こそライブ当たりますように。

三つ目はコロナも落ち着き、地域交流やイベントが立てやすくなったことです。今月は山村留学生が地域の方のご協力を得て民泊を体験します。今年は地域のお祭りや運動会にも参加できるよう、寮生の只見での思い出が楽しいものになるように頑張ります。

日常に少しの楽しいをどう見つけていくか。コロナで無くなってしまったものも少しずつ復活しています。それだけでなく、全く新しいことに挑戦するのもいいでしょう。自分次第でもありますが、楽しいことを生み出すきっかけはいろいろな所に散りばめられていると思います。こうして書き出してみると、「私、今わりと楽しんでるな」と感じています。

発見!

# たからモノ ただみの文化遺産

第5回

奥会津文化施設間 連携企画展  
奥会津 只見の縄文

現在  
開催中



ただみ・モノとくらしのミュージアムでは、奥会津文化施設間連携企画展『奥会津の縄文』（会期：7月22日～11月12日 入館無料）を開催しています。只見町、南会津町、金山町、柳津町、三島町、昭和村、桧枝岐村の7町村の各施設で特徴的な縄文土器や石器などを展示するという初の試みです。

只見町の縄文時代は、縄文時代中期（約5,500年～4,400年前）以降の土器が多く見ついています。それ以前の遺物は、発掘調査された七十苅遺跡から出土した縄文時代前期（約7,000～5,500年前）と考えられる遺物が2点発見されているのみで、遺跡も見つかっていません。

縄文時代中期の遺跡は、今私たちが住んでいる場所より少し高い所にあります。例えば、館ノ川遺跡や小川上野遺跡、深沢遺跡などがあります。土器の特徴としては、突起（突き出た部分）やS字状の文様など際立った文様を付けたものが多く大型の土器です。

再埋葬が発見された福島県指定史跡の窪田遺跡は、縄文時代から弥生時代の遺跡です。再埋葬は、出土した土器から弥生時代のものと考えられますが、住居跡や周辺から出土した土器は、縄文時代晩期（約3,200年～2,400年前）のものがとても多く出土しています。窪田遺跡は様々なものが出土しており、土器や石器だけでなく、魚を捕るために使用したと考えられる土錘（土を焼いたおもり）や石錘（石のおもり）や耳飾りに使用した耳栓、土偶などが見ついています。

只見町史などに掲載された土器などを一挙に見られる機会となっています。また、寄贈された土器を初出品して展示していますので是非ご来館ください。

文：渡部賢史  
写真：小林宗一



▲小川上野遺跡 縄文時代中期の土器



▲窪田遺跡出土 縄文時代晩期の土偶



▲窪田遺跡出土 土錘(どすい)



▲深沢遺跡 縄文時代中期の土器



## ただみ・モノとくらしのミュージアム 展示情報



奥会津文化施設間連携企画展「奥会津の縄文」

会期：2023年7月22日(土)～11月12日(日)

場所：ただみ・モノとくらしのミュージアム ふれあいホール

入館無料

只見短歌会 令和五年七月詠草

畑すみに灰のかに匂ふ青紫蘇をつみ来て夕餉げの一品に添へ  
馬場 八智

世話受けし知人友人心しつ思ひ至らず月日過ぎゆく  
関谷登美子

幼さの残る曾孫業立ち行く祝い言葉の裏は淋しき  
目黒 富子

昼寝する息子の頭をそつと撫で夏を感じる頭髮の湿り  
立花 奏音

断捨離と言へども亡母ははの短歌うたの道語りし書物捨てるに難し  
新国由紀子

締め切りの迫りし歌稿うたの推敲にペンを持てども進まずにをり  
渡部ヨリ子

雨風晴とひと日のうちに定まらぬ気候など言ひ友と長居す  
故 新国 洋子(遺作)

只見俳句会 七月定例会

真夏日や辛き煎餅届きたる  
初夏の風鍋の焦げ付き落とす妻  
修 一  
無任寺の官修墓地やねむの花  
家七戸三戸廃屋濃紫陽花  
恒 夫

夏深かし孫を連れての墓参り  
秋暑し十三回忌の藤圭子  
信  
雲足の夏山に影落としつつ  
大ききの違うハンカチハンガーに  
礼

泥んこのユニホーム姿梅雨に入る  
春眠や忘れ漢字の多きこと  
都  
主なくしあやめの朽ちの早まりぬ  
墓石の隙間より十薬顔を出し  
一穂

芍薬の一輪咲いて夏来たり  
何千の花びら重ね芍薬や  
真理子

五月雨の田に落ちる音耳澄まし  
柏餅ことにあんこにふんわりと  
紺 青

# 今月のお知らせ

## 試験

### 令和6年度社会福祉法人 南会津会職員採用試験

#### 1、採用予定職種及び採用予定 人員

【生活相談員】若干名

【看護職員】2名程度

【介護職員】5名程度

【介護支援専門員】若干名

#### 2、受験資格

①普通自動車一種免許取得者又は、令和6年3月31日までに取得見込みの者

②令和6年4月1日時点で60歳未満の者

③次の資格を有する方、または令和6年3月31日までに取得見込み

【生活相談員】

社会福祉士又は社会福祉主事

【看護職員】

看護師又は准看護師免許

【介護職員】

特になし

## 電話番号

総務企画課	財政係	☎82-5210
総務係	企画係	
町民生活課	町民税務係	☎82-5110
	生活安全係	☎82-5100
保健福祉課	保健係	☎84-7005
	福祉係	
成年後見制度利用促進室		☎84-7010
農林建設課	農林係	☎82-5230
	建設係	☎82-5270
交流推進課	観光係	☎82-5240
	商工労働係	
移住交流係	薪エネルギー推進室	☎82-5220
ユネスコエコパーク推進係		
(ただみ・ブナと川のミュージアム内)		☎82-5963
会計室		☎82-5120
議会事務局		☎82-5300
農業委員会		☎82-5230
教育委員会		☎82-5320
学校給食センター		☎84-7180
只見保育所		☎82-2219
朝日保育所		☎84-2038
明和保育所		☎86-2249
朝日診療所		☎84-2221
(歯科)		☎84-2612
こぶし苑		☎84-2101
只見公民館		☎82-2141
朝日公民館		☎84-2111
明和公民館		☎86-2111

#### 7、申込用紙の交付及び請求

【介護支援専門員】  
介護支援専門員証の交付を受けている者  
※ただし次に該当する者は受験できません。  
①日本の国籍を有しない者  
②禁固以上の刑に処せられた者  
3、受付期間  
令和5年9月15日(金)まで  
4、試験日及び場所  
○試験日時  
令和5年10月1日(日)  
午前9時30分から受付  
試験の結果については、10月下旬に本人に通知します。  
○場所  
南会津郡南会津町田島字後原  
甲3586-1  
南会津町田島あたご館  
3F大ホール・研修室

#### 8、問合せ先

社会福祉法人南会津会本部署  
事務局、各特別養護老人ホーム  
(下郷・伊南・田島・南郷・只見・あさくさホーム)、只見町  
介護老人保健施設こぶし苑、  
南会津町館岩高齢者生活福祉  
センター高夕  
※南会津会ホームページからも  
ダウンロードできます。

南会津町永田字風下3-1-1  
☎0241-63-1118

## お知らせ

### 「第16回南会津 救急フェア」開催

#### 「第16回南会津救急フェア」開催

「第16回南会津救急フェア」を開催します。当イベントでは、消防車両の展示や消火体験を実施します。また、救急に関する講演や心肺蘇生法などの応急手当講習が受講できます。(要事前申込)

【開催日時】9月9日(土)  
午後1時から4時

【申し込み及び問合せ先】  
講習受講を希望の方は、FAXまたはメールで「氏名・年齢・連絡先」を記載の上、お申し込みください。

FAX: 0241-63-3115

メール: fd-honbu-kyukyu@minamizaifu-kouiki.jp

締切: 8月31日まで

【問合せ先】  
南会津地方広域市町村圏組合  
消防本部 警防課 救急係  
☎0241-63-3116

テクノアカデミー会津  
ZEH・ZEB技術セミナー

省エネ住宅の高効率設備や再生可能エネルギーに関する講習会を開催します。エネルギー収支をゼロにする考え方(ZEH・ゼッチ)に関する知識を深めたい方は、気軽にご参加ください。

なお、詳細はホームページ  
(<https://www.tc-aiizu.ac.jp>)  
に掲載しています。

【日時】  
令和5年9月22日(金)  
午後1時30分～午後3時30分

【場所】  
ハイテクプラザ会津若松技術  
支援センター 多目的ホール  
会津若松市一箕町大字鶴賀字  
下柳原88-1

【申込方法及び問合せ先】  
申込みは左記までお電話ください。

福島県立テクノアカデミー会津  
電気配管設備科  
☎0241-27-3221

## 税 今月の納期

8月25日までに  
納めましょう

- 町県民税(2期)
- 国民健康保険税(2期)
- 農集排使用料(8月分)
- 介護保険料(2期)
- 後期高齢者保険料(1期)



# 広報ただみ町長室

只見町長 渡部 勇夫

◆全国マタギサミットを只見町で開催していただきました。当日は北海道から京都まで約200名を超える方々に参加いただきました。

唐突ですが、現在只見の雪まつりに町内の熊肉は提供できません。また、全国で熊の出没も増えていきます。そして、農産物の獣害も増えているようです。昭和40年代後半頃から徐々に山との関わり（ゼンマイ折り、薪炭材の利用等）が薄くなってきたことと関係しているように思います。

一見関係ないように思われるかもしれませんが、薪エネルギーの事業推進も山と人里との緩衝地帯をつくり出すという意味合いもあります。

もちろん一挙に解決できるものではありませんが、皆さんで知恵と力を合わせて山との関わりをもった生活を皆さんと共に考えていきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

◆JR柏駅前4年ぶりに開催された「柏おどりLIVE」に只見町チームとして参加してきました。

只見つくし会の鈴木さん及び酒井さんの踊りの指導の下、只見町オリジナルのお揃いの浴衣を着て、流し踊りを総勢20名で大勢の観客にご声援をいただきながら踊ってきました。

町商工会の職員の方、商工会女性部の方、一般町民の方、町役場の若手職員の混成チームでした。

そこに大塚町議会議長と私も加わりまさに汗だくでしたが、柏市との交流を深めました。

その後、踊り手と観客に一体感が生まれ、最後は観客も参加する輪踊りになって大いに盛り上がりました。

次は、来年の雪まつりに柏市長さんに只見町にお越しいただくようお願いしてまいります。

## 町長スケジュール〈7月分〉



- |     |  |     |   |
|-----|--|-----|---|
| 2日  | 只見線応援 歌と踊りのチャリティーショー                                     | 18日 | 電源開発(株)田子倉電力所長来庁、只見ユネスコエコパーク推進協議会、南会津農林事務所長との意見交換会、福島民報来庁、深沢集落座談会、東北電力ネットワーク(株)田島電力センター所長来庁 |
| 3日  | 辞令交付式、南会津税務関係団体協議会総会、作曲家佐瀬寿一氏来庁                          | 19日 | 只見町ブナセンター運営委員会、只見町交通安全対策協議会、只見高校振興対策会議総会  |
| 4日  | NTT東日本(株)会津営業支店長来庁、郡山国道事務所長来庁、定例庁議、只見高校振興対策会議役員会、小川集落座談会 | 20日 | 会津総合開発協議会本省庁等要望(東京都)  |
| 6日  | 南会津地方町村議会議員大会・交流会(南会津町)、下福井集落座談会                         | 21日 | 奥会津7町村文化施設間連携企画展オープニングセレモニー(三島町)  |
| 7日  | 只見郵便局長来庁   | 22日 | からむし織の里フェア(昭和村)、ねっか祭並びに日本農業賞特別賞受賞祝  |
| 9日  | 八十里越フォーラム(三条市)   | 24日 | 日本ユネスコエコパークネットワーク大会(横浜市)  |
| 10日 | 日本ウォーキング協会専務理事来庁、東北農政局福島県拠点地方参事官来庁                       | 25日 | 熊倉集落座談会   |
| 11日 | 黒谷集落座談会  | 26日 | 南会津運輸親交会来庁、南陽会理事長来庁、南会津会来庁、国道(289号)八十里越地点開発促進期成同盟会総会  |
| 12日 | 国道289号線建設期成同盟会 会長・副会長会議(東京都)                             | 27日 | 亀岡集落座談会   |
| 13日 | 会津縦貫道整備促進期成同盟会 地方要望(仙台市・郡山市)                             | 29日 | 柏まつり(~30日)  |
| 14日 | 福島県治水協会総会・福島県砂防協会総会(福島市)                                 | 31日 | 議会7月会議、総務常任委員会、経済常任委員会、定例庁議、梁取集落座談会   |

# 町民の消息

(6月26日～7月25日届出分)敬称略

## ■お誕生おめでとうございます

鈴木 <sup>かほ</sup>花歩 (女/晃・千寛) 只 見

## ■おくやみ申し上げます

鈴木 巳代	94歳	只 見
五十嵐 功	89歳	蒲 生
吉津 英世	90歳	長 浜
目黒 満四郎	91歳	長 浜
酒井 ヨウ子	67歳	只 見
横田 純	89歳	大 倉
藤 サキコ	89歳	塩ノ岐
矢沢 久子	96歳	塩 沢
馬場 克夫	59歳	梁 取

※「町民の消息」欄に掲載を希望されない方は、届出のときにその旨をお伝えください。

# 人のうごき

令和5年7月1日現在

人 口	3,736 (-15)
男	1,855 (-10)
女	1,881 (-5)
世帯数	1,584 (-3)
高齢化率	48.9%

※高齢化率とは、65歳以上の人が人口に占める割合です。

転入 4 転出 10 出生 1 死亡 10

▽モノとくらしのミュージアムでは、皆川雅舟展と奥会津の縄文展が開催中です。夏休みにぜひご覧になってみてはいかがでしょうか。

▽最近、夜に空を見上げることが増えました。光害が少ない只見町は、星空を目で見るのにも写真に撮るのにも絶好のロケーションだと思えます。ぜひゆつくり眺めてみてください。

(小林)

## あとがき

1、ゆたかな緑ときれいな水をまもり美しい町をつくりましょう

1、互いに助け合い親切をつくし楽しい町をつくりましょう

1、産業をおこしみんなで働ける豊かな町をつくりましょう

1、教養を深め心と体をきたえ文化の町をつくりましょう

1、きまりを守り良い風習を育て住みよい町をつくりましょう

## 町民憲章

## 明和公民館 図書紹介

明和公民館図書室  
☎86-2111

# おすすめ新着図書

## ★鈍色幻視行



【著】恩田 陸 (集英社)

謎と秘密を乗せて、今、長い航海が始まる。

撮影中の事故により三たび映像化が頓挫した「呪われた」小説『夜果つるところ』と、その著者・飯合梓の謎を追う小説家の落谷梢は、関係者が一堂に会するクルーズ旅行に夫・雅春とともに参加した。船上では、映画監督の角替、映画プロデューサーの進藤、編集者の島崎、漫画家ユニット・真鍋姉妹など、『夜果つるところ』にひとかたならぬ思いを持つ面々が、梢の取材に応じて語り出す。次々と現れる新事実と新解釈。旅の半ば、『夜果つるところ』を読み返した梢は、ある違和感を覚えて…。

## ★きらめく甲虫



【著】丸山 宗利 (幻冬舎)

こんな色合い見たことない！

想像を超えた、生きる宝石200。まるで銀細工のようなプラチナコガネ、日本の伝統紋様さながらに多様な柄をもつカタゾウムシ、虹色の輝きが美しいアトバゴミムシ……。

硬くて強そうな見かけの甲虫はそのかっこよさで人気があるが、ここでは、特に金属光沢が美しいもの、珍しい模様を背負っているもの、色合いが芸術的なものを厳選して紹介してゆく。甲虫の持つ美しさをすみずみまで楽しめる！

☆明和公民館ではリクエストも随時受付していますので、ぜひご利用ください。

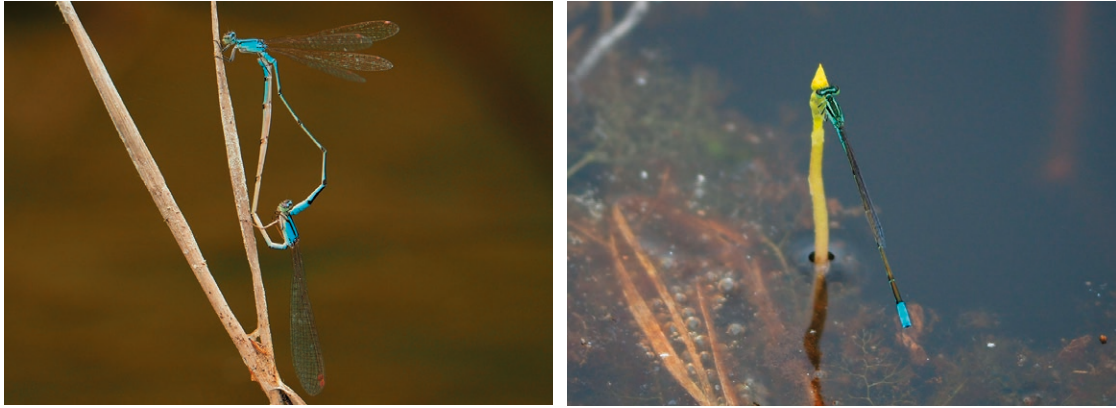


東北では初めて只見町から記録されたトンボ

(写真・文 太田祥作)

## ホソミイトトンボ (学名: *Aciagrion migratum*)

【トンボ目イトトンボ科】



▲ ホソミイトトンボ 左が越冬型で、交尾の様子(上が雄・下が雌)。右が夏型の雄。  
越冬型は青味が濃く、夏型は青味が薄い

福島県内では2023年現在、96種のトンボが記録されています。このうち最も新しく記録された種が、今回取り上げるホソミイトトンボです。このトンボは2022年5月に只見町で発見されたのですが、これは福島県初記録であると同時に、東北地方における初記録でもありました。

ホソミイトトンボは暖かい地域を好むイトトンボで、本州から九州にかけ広く分布しており、関東以西の太平洋側や西日本ではふつうに見られる種です。池沼や湿地など、主に流れのない水辺に生息し、水田や都市公園の池でも見ることができます。近年、これまで見られなかった北関東や、中部地方の内陸部において相次いで確認されるようになり、分布域の急速な北上が注目を集めてきました。これには温暖化の影響を指摘する向きもあります。

ホソミイトトンボは生態も独特であり、トンボの中では例外的に、成虫で越冬することが知られています。成虫には二つの型があり、一つは秋に発生して越冬し、翌春に繁殖活動を行う「越冬型」、もう一つは夏にだけ現れて繁殖活動を行う「夏型」です。これら二型が生じる要因はまだ解明されていないようです。

そんなホソミイトトンボですが、只見町では既に定着状態にあると考えられ、町内の複数箇所において、昨年に引き続き今年もまとまった数が確認されています。「只見の雪は昔より減った、夏は暑くなった」という声がしばしば聞かれますが、温暖化の影響は実感としての気候の変化のみならず、生物相の変化にも現れ始めたのかもしれません。

〈出典〉太田祥作(2022)東北初記録のホソミイトトンボを福島県只見町で採集. 月刊むし, 619:47-48.

### 只見町ブナセンターからのお知らせ

ただみ・ブナと川のミュージアムでは下記企画展を開催中です。町内で確認されている67種のトンボについて、豊富な写真を掲載したパネルや標本資料から学ぶことができます。ぜひお越しください。

#### 企画展「只見のトンボ」

会期：2023年7月29日(土)～11月27日(月)

場所：ただみ・ブナと川のミュージアム 2階ギャラリー